AWS麻雀 Ver1.1

JAWS-UG

ルール(麻雀)

- 基本的に麻雀ルールを踏襲
- ポン・チー・カンあり
- 喰いタン・後付けなし
- 東風のみ ※親の連荘なし
- 持ち点は25000点の30000点返し
 - 〇 符計算は行わない
 - 4ゲームするか、誰かの持ち点がなくなった時点で終了
- 誰かが上がる、もしくは18回ツモで終了(流局)
- JAWS-UG牌はドラとして扱う
- CDPがない場合は点数は0点 ※役満は除く
- CDPがある毎に、1飜増えていく※同じ牌を再利用してCDPは作れない

ルール(点数計算)

	子(ロン)	子(ツモ)	親(ロン)	親(ツモ)
1番飛	1000	500(500)	1500	1000オール
2番飛	2000	1000(1000)	3000	1500オール
3飜	3000	1000(2000)	5000	2000オール
4飜	5000	1500(3000)	8000	3000オール
5飜(満貫)	8000	2000(4000)	12000	4000オール
6,7飜(跳満)	12000	3000(6000)	18000	6000オール
8,9,10飜(倍満)	16000	4000(8000)	24000	8000オール
11,12飜(三倍満)	24000	6000(12000)	36000	12000オール
13飜(役満)	32000	8000(16000)	48000	18000オール

ルール(作り方)

● 刻子









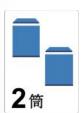




同じ種類の牌を3つ集める。 4枚集めた場合カンが可能となる

● 順子













同じ種類の数字を順番に集める。 ※ただし、891などはなし

● 対子









同じ種類の牌を2つ集める

ルール(上がり方)

手配で刻子or順子を4つ、対子を1つ作れば上がり

例)































ルール(上がり方例外)

例外パターン

例)七対子



























例)国士無双



























役一覧(通常役)

- 1飜
 - 立直(門前)、一発(門前)、門前清模和(門前)、平和(門前)、断ヤオ、一盃口(門前)、役牌(白、發、中、門風牌、荘風牌)、嶺上開花、海底撈月、河底撈魚、槍槓、ドラ
- 2飜
 - 〇 ダブル立直、全帯(鳴き1飜)、混老頭、三色同順(鳴き1飜)、一気通貫(鳴き1飜)、対々和、三色同刻、三暗刻、三槓子、小三元、七対子(門前)
- 3飜
 - 〇 二盃口(門前)、純全帯(鳴き2飜)、混一色(鳴き2飜)
- 6飜
 - 〇 清一色(鳴き5飜)

役一覧(役満)

- 四暗刻
- 四暗刻単騎(ダブル)
- 清老頭
- 四槓子
- 大三元
- 字一色
- 小四喜
- 大四喜
- 国士無双
- 国士無双十三面待ち(ダブル)
- 天和
- 地和
- ※九蓮宝燈、緑一色、大車輪はありません。

AWS役一覧(役満)

● リファレンスWebアーキテクチャ(役満)



● スシロー(役満)



特殊あがり(麻雀限定)

● リファレンスWebアーキテクチャ(役満)



● スシロー(役満)



特殊役

- Kinesushi 暗カンで2飜、明カンで1飜
- Docomo 暗カンで2飜、明カンで1飜
- セキュリティカン 暗カンで2飜、明カンで1飜
- AWSロボ 面前のみ2飜

































AWS麻雀・ドンジャラ CDP役一覧 ver1.1

JAWS-UG

牌の種類

















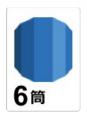














































牌の説明 萬子(マンズ)



EC2



Elatic Beanstalk



Auto Scaling



Instances



Elastic Load Balancing



Amazon Lamda



EC2
ContainerService



AMI



Amazon Kinesis

牌の説明 筒子(ピンズ)



Dynamo DB



bucket



AWS Iot



Amazon EBS



ElastiCache



Mobile Hub



snapshot



RDS



Amazon Redshift

牌の説明 索子(ソーズ)



Direct Connect



EMR



QuickSight



CloudWatch



Machine Learning



Route53



elastic network instance



S3



Cloud Front

牌の説明 三元牌(サンゲンハイ)



WAF



Cognito



Amazon CloudSearch



CloudTrail



Device Farm



Amazon SES



Inspector



MobileAnalytics



Amazon SQS



IAM



SNS



API Gateway

※白に相当

※撥に相当

※中に相当

牌の説明 風牌(ファンパイ)

EAST

東

リージョン バージニア الرسام

JAWS-UG

SOUTH east

南

リージョン シンガポール



JAWS-UG エンタープライズ

WEST

前 西

リージョン カリフォルニア



JAWS-UG 中央線

NORTH east

🎁 北

リージョン 東京



JAWS-UG 女子会 麻雀の場合はドラ ドンジャラの場合はオールマイティ として扱う

JAWS-UG牌について

CDP一覧 Ver1.1







Snapshot

ある瞬間のデータをスナップショット(バックアップ)として 作成しS3に保存する事でいつでも復元できるようにす る。 APIを利用して自動バックアップ作成がよくある使い 方。







Stampパターン

AMIを利用する事で、簡単に同じ環境を用意する事が可能。同じ環境を複数台構築する場合にとても便利になる。







Web Storage

大容量のファイルや静的コンテンツなどをS3から配信する事でEC2への負荷を減らす。動的コンテンツはEC2より配信する。







Cache Distribution

Cloudfrontを利用する事で、世界中にあるオリジンサーバーから遅延なくコンテンツを配信できる。 まとめるとサイトが早くなり、ユーザーへのレスポンスが良くなり、EC2へのアクセス負荷も減ります。









Direct Hosting

R53、Cloudfront、S3を利用する事で、絶対に落ちない静的サイトを構築する事が可能となる。



2萬





Job Observer

SQSを利用して、CloudWatcheで指定した閾値を超えた場合、自動でAutoscalingを行う。

負荷に応じて、EC2の台数を増減(スケールアウト・スケールイン)する。





Back Net



EC2に対して、2つのENI(仮想ネットワークインタフェース) を用意する事で、公開用ネットワークインタフェースと管理用ネットワークインタフェースを利用する。







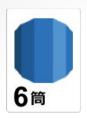


State Sharing

ステート情報(セッション情報、ユーザー情報)などを DyanamoDB、Redisに保持することで、サーバー増減時に ステート情報の喪失を防ぐ。







Inmemory DB Cache

頻繁に読み込まれるデータをRedisにキャッシュする事で、DBから呼び出すことなくRedisからキャッシュデータを取り出す。







Scheduled Autoscaling

アクセスが急増するタイミングがわかってる場合、スケジューリングからスケールアウトする事で、サービスを止めずに運用が可能となる。





Storage Index



インターネットストレージにデータを格納する際、同時に検索性能の高いKVS(Dynamo DB)へメタ情報を格納し、その情報をインデックスとして利用する。検索時はKVS (Dynamo DB)を用い、得られた結果を基にインターネットストレージへアクセスする。







Multi Load Balancer

ELBを複数台用意する事で、同一サイトでELB毎に挙動を変える事ができる。

PCサイト、スマホサイトをELBを利用してアクセス先を変更できる。







サムライIoT辻

UG京都が誇るAWSサムライ2016の辻さんがこよなく愛する(デモLTでよく事故る)IoTの王道パターン。Kinesisが受けたセンサーデータをLambdaでよろしく加工してDymamo DBに。あとは煮るなり、焼くなり、可視化するなり。







IoTスターターパックパターン

AWSでIoTを始めるならまず最初に使いたい構成。デバイスからMQTTで受けたセンサーデータをAWS IoTが Dynamo DBに直接投入。あとはQuickSiteで簡単可視化。でも残念ながらQuickSiteはまだプレビュー。







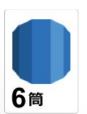
マルチリージョンパターン

東と西のリージョンにあるシステムにRoute53でバランシングすると勝手に近い方のリージョンに振り分けてくれるから低レーテンシーをキープできる。









クラウド移行鉄板パターン

オンプレシステムを構成そのまま少しずつお引越し。エンタープライズ王道CDP。しばらくはハイブリッドでもいいじゃない。先には明るい未来が待っている。







ブルーグリーンデプロイメントパターン

Route53とBeanstalkを利用して安全なリリースを。ダメだったらロールバックすればいいので、どんどん新機能をリリースしちゃいましょう。







ブルーグリーンデプロイメントECSパターン

上記の進化系。Route53とECSを利用して安全なリリースを。リリースがうまくいったら古いコンテナは捨てて、新しいコンテナに。







BIパターン

AWSを利用したBI構成の王道パターン。あのデータもこのデータもとにかくKinesisで集めてRedshiftに投入すればQuickSightが真実を見せてくれるはず!







ディープラーニングパターン

AWSを利用したBI構成の進化系。あのデータもこのデータもとにかくRedshiftに投入すれば、Machine Learningが未来を見せてくれるはず!







セキュアWebサイト三兄弟

この3人が揃えば、DDoSだろうがXSSだろうが、どんな攻撃も怖くない。最強の3兄弟。







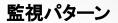
モバイル三兄弟

この3人が揃えば、業務アプリだろうがソーシャルゲーム アプリだろうがどんなアプリ開発も怖くない。最高の3兄 弟。











AWS麻雀限定CDP。

CloudWatchで各サービスの挙動を監視しSESでアラート通知。CloudTrailを使えばAWS APIの呼び出し履歴も取得可能。S3に保存されたログを使えば稼働状況の分析もできます。





サーバーレスAPIパターン

AWS麻雀限定CDP。

REST API公開の新常識となりつつある構成。Lambdaで稼働中のコードをAPIとして簡単に公開、管理することが可能。







スケジュールバックアップパターン

Lamdaを利用して、EC2 or RDS のバックアップを作成し snapshotに保存。今までのバックアップの悩みがこれで あっさり解決。







とあるアプリリリースパターン

Mobile Hubを利用してモバイルアプリ経由で CloudSearchを叩いて、ワードの検索と登録が可能。







ガチ分析パターン

Redshiftだけじゃ物足りない!やっぱHadoopでしょ!さらに機械学習もやっちゃうでしょ!というガチ分析系エンジニアのためのCDP。









クラウドネイティブパターン

「EC2は使わない。」そう、これがクラウドネイティブエンジニアの合言葉。でも、EC2を憎んでいるわけではありません。

特殊あがり(麻雀限定)

● リファレンスWebアーキテクチャ(役満)



● スシロー(役満)



特殊役

Kinesushi

Docomo

● セキュリティカン

● AWSロボ































